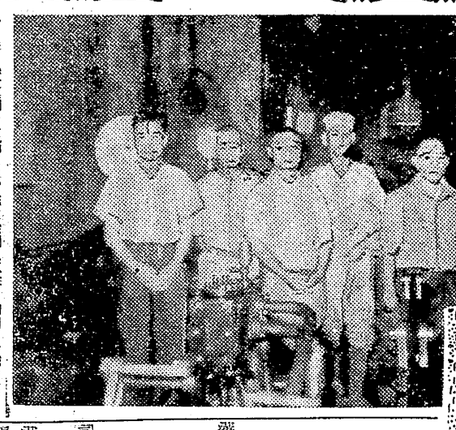
その名は〝納屋者〟
それが曾ての我々の姿だつた

参加者（写真向つて右より）藤口治記（十作、勤続廿七年）福山正次（捲上、同廿年）猿渡忠孝（ボンプ庶務廿五年）小塩友吉（捲上、同廿五年）平井鶴鷹（同、同廿七年）



万田鉱 昔と今
座談會

冥から秋へ季節の移りかわりをもたらす雨煙たる雨のそぼ降る中に、万田鉱の閉鉱式が無量の感慨をこめて執り行われた。式終つて、この日特に招待された地元有力者や、職員永勤者などが宴会場に足を運んだあと、会場からやゝはなれて現場員の爲にしつらえられた長椅子に腰かけたまゝ山神の祠のあたりを見守つて去りもやらない一群の人達があつた。このヤマと共に廿年、世年の永い間働き続けて來た、いわば万田鉱の生きた歴史ともいうべき人達である。〝下罪人〟扱いされた時代から進歩的組織労働者の中でも驚きをなすに至つた現在まで、これは重たい口からポツリ〳〵と語られた現場座談会の記録である。

採炭の金受がタツタ二圓
外米ばかり食つて居た

司会　皆さん万田鉱で永く勤続され、今日閉鉱式が挙げられ夫々感慨深いものがあると思います。最初その感想から聞かせて頂きましようか。

藤口さん　私は勤続廿七年、初代富田さんから現在の井上さんまで十五代の鉱長を送り迎え、その間沢山の仲間達が万田鉱の礎として倒れて行つた。それ等の犠牲者が今日の閉鉱式をどんな氣持で墓場の陰から見守つた事か、思うたに胸潰る、感がします。特に思い出深い一坑捲きの堀下げ工事で殉職した人を忘れる事が出來ません。此の雨も恐らくは別れの涙雨〳〵ということでしようか。

福山さん　合計に際し從業員がよく三百年の大計の爲という事を胸にたゝみこんで少しも騒ぐれる事なく万田の名に恥じない行動をした、その事を一番嬉しく思います。

司会　では今度は旧い万田の思い出話を一つ。

藤口さん　昔の社宅、納屋といつていましたが酷いものでした。四畳半一間きり、それも半小屋や馬小屋見たいな個想不なもので、炭鉱人は一口に納屋者と呼ばれ、下罪人並みに軽視されたものだつた。

小塩さん　大納屋というのがあつた。所謂飯場制度に当るもので雇身者が入つていたが、いやはや殺風景なもので、人間並みに扱われていなかつた。

猿渡さん　会社が出す慰安弁当もその外米で炊いたモソ〳〵飯で豆腐位の大きさの四角な飯、それに漬物が二切れ三切れついていた。

藤口さん　宮ノ原坑で坑夫人が入坑していたが、そのモソ〳〵飯を無駄をさせて酒を造つていたと聞いている。

猿渡さん　その外米で炊いたモソ〳〵飯を食うものと決つていたが、それが一升九錢二厘、一日坑内に下ると外米一升呉れた。勿論その分は賃金から引かれるのだが外米はかりでは米ロ〳〵して食えないので半分は自炊さんと交換して喜ぶていた。

藤口さん　昭和二年に入社したが日給九十二錢だつた。その頃は十五ヒ勘定だつたが、採炭で金受けがたつた二円、もつとも飯場の勘定を引かれてだが…

小塩さん　昭和二年に入社したが、その頃は屋取りは外米を食うものと決つていたが、それが一升九錢二厘、一日坑内に下ると外米一升呉れた。勿論その分は賃金から引かれるのだが外米はかりでは米ロ〳〵して食えないので半分は自炊さんと交換して喜ぶていた。

藤口さん　宮ノ原坑で坑夫人が入坑していたが、そのモソ〳〵飯を無駄をさせて酒を造つていたと聞いている。

坑内に咲く花
地底に見る女の姿の美しさ

司会　坑内に女の方が働いていた時分の思い出を伺が。

小塩さん　夫婦者が多かつたが、娘さんも相当いつていた。大抵打鳴らし職場通りより入場し炭鉱作業をやつている。この様な傾斜層を受けられる從つて殆んどの坑は風急に崩倒による災害が可成り多く斜めに掘つて行く關係上、勾配の増大に努めて居り、瓦斯に対する保安上の警視庁も厳格に守られて居ることは勿論である。

東洋一のガス發生量
新幌内炭鑛を見る

瓦斯量の甚だしい坑の代表的なもの、ボイラー二基岩盤工場の唯二基を常時焚いている。この熱量は大した物でメタン瓦斯含有量八十五%という恰度アーチ神の湾曲唯を試験していたが成功の見透しがあるとの係員は自信満々であつた。この作業に於事する者も汽唯士でなく瓦斯検定係がいて瓦斯の調節を計つている。坑外の熱汽缶場は全部ついていえば三井鳥別坑で実施中に保安上危険があり中止して居る。

期待外れの保安施設
傾斜45乃至60度

保安状態は遅れて居る。調査目的であつた保安状況は初期の期待を裏切つた様である、北海道の特殊性から見ると已むを得ない点もあると思はれる。先づ殆んどの炭層が急傾斜をなして居ること、及メタン瓦斯発生量の多いこと、一般的に設備が遅れて居る、この三つが一番大きい特殊性といえる。即ち炭層の傾斜状態を見ると一〇度から三〇度という炭層は稀で殆んど四十五度乃至六十度で密たしい処で九十度の垂直に立つて居る。

北海道炭鉱視察
一より歸りて（二）

勞働部長　中田義信

十尺が普通であるが二十四尺層と次に瓦斯量について述べれば普通というのがあつて厚層採炭の二面掘をやつている。この様な傾斜層を受けられる從つて殆んどの坑は風急に崩倒による災害が可成り多く斜めに掘つて行く關係上、勾配の増大に努めて居り、瓦斯に対する保安上の警視庁も厳格に守られて居ることは勿論である。

瓦斯量の甚だしい坑の代表的なもの、ボイラー二基岩盤工場の唯二基を常時焚いている。この熱量は大した物でメタン瓦斯含有量八十五%という恰度アーチ神の湾曲唯を試験していたが成功の見透しがあるとの係員は自信満々であつた。この作業に於事する者も汽唯士でなく瓦斯検定係がいて瓦斯の調節を計つている。坑外の熱汽缶場は全部ついていえば三井鳥別坑で実施中に保安上危険があり中止して居る。

利けていた小頭
御話にならぬ勞働條件

司会　その頃の職制はどうなつて居たのですか？

福山さん　工手長と云うのが今の係長、工手が係員、その下に小頭（現場員とも云つた）同様助手頭、こゝまでが役員であとは坑夫です。

藤口さん　役員は常服でいたが特に小頭と云うのは利けていた。物も云えんくらいだつた。

司会　勤務は？

小塩さん　夜八時に出て朝八時に帰るというと見合で正味切掘に八時間…。

福山さん　家に帰つてもぼんとに食つて寝るだけ、自分の時間というのは殆ど無かつた。

小塩さん　配役現場は十日目毎にクジ引きで決めていた。分の悪い切羽に廻されたら十日間というものそれこそ泣かされた。

猿渡さん　その代り地山だから直中は短かつた。たしか廿何片位しかなかつた。

小塩さん　坑内から二寸壁を貰いに、という事も出來た。

すつ裸にわらじがけ
その頃の坑内風俗

藤口さん　差服のない時代で、坑夫は書藤までのヒツカケと云う絆てん見たいなもの着て褌絆も地下足袋もなし、坑内歩行もキャツプ・ランプが出來てからでそれまでは書捻り鉢巻、女も大体同じような風俗だつた。

平井さん　意地の悪いのが居た。小塩さん　扱いつけた者の手にかゝるとそうでもないのだが。キツイ時はよく馬の尻尾に下つてあがつたものだつた。

組合のお蔭で何も彼も好くなつた
以前は保安などヤリ放し

司会　その頃と今と較べると保安なんかも大違いでしようね？

福山さん　昔はやり放だつた。人一人死のうが生きようが大して問題にされなかつた。

小塩さん　殉職者が出ても、即はろくに挨拶もしないで、たゞスミを掘り出すだけだつた。

小塩さん　採炭の神なんかも余程い程実生活に突入して居るがとう

平和憲法を護り抜け！
道はよし嚴しくとも
平和推進に國民会議結成（岡福）

戦争……それはいかなる理由の下に行われようと人類にとつては最大の冒瀆である。日本憲法を守り永久平和を確立し急に日本の再軍備に反対し真に國の独立と全面講和を希望するとして今日福岡中央の上部組織も大半出地区でも平和を祈る労働團体を初め各種團体其他平和擁護者の努力もあつたが開会定刻迄満の約三千名の方々家の平和信仰を身をもつて言葉の南無妙法蓮華を唱え、太鼓を叩き鳴らし嚴粛通りより入場し炭鉱作業二時半、労働團体、宗教、婦人等の開会の辞に続き議長國に社会党部長の四氏が選出され議事が進行した。

戦争……それはいかなる理由の下に行われようと人類にとつては最大の冒瀆である。日本憲法を守り永久平和を確立し急に日本の再軍備に反対し真に國の独立と全面講和を希望するとして今日福岡中央の上部組織も大半出地区でも平和を祈る労働團体を初め各種團体其他平和擁護者の努力もあつたが八時半、婦人、青年の各種團体に長書記長、宗教團体代表、婦人会代表より綱領を提案され南無妙法蓮華を唱えられると同時に満場拍手をもつて可決し、スローガンの採択、活動方針の審議に入るや多数の意見が出され、討議されたが現在の段階では地区人会より提案された活動方針に基づき、各種團体各地区では大々强力に展開する事で了解決定をみた。

次に実行委員の選出に就ては現在の世話人会に各種團体並地区の承諾に応じて活動の出來る実行委員を選出してもらう事で世話人会に一任した。

大会宣言が発表されるや満場割れる様な拍手でこれを歓迎した。大会島田議長より「今日極めて復雑な情勢にある時しかも対日講和の最後の段階に直面し、平和憲法を守り、原爆戦争と今日の様な朝鮮の様に戦争を繰返いこと、平和憲法を守り、原爆戦争と今日の様な朝鮮の様に戦争をたくらむ一部の貪欲な者と最後迄闘う様に言う今日福民いな日本における平和推進実行委員と共に私達一人々々の為にそれ〳〵の立場に於て展開しよう。」と議長就任成大会の万々を三唱して終了した。

スローガン

一、平和憲法を守れ
一、全面講和、中立厳守
一、再軍備反対
一、軍事協定反対
一、言論、集会、結社の自由
一、平和を破壊する國際共産主義ファシズム反対

組合とも協力

新港青年團結成

産業大陸日本復興の課題は国民出身組合員のあらゆる努力にも拘わらず遂に実現せず八日講和條約の調印がなされたが、これを機会にかねて有志の間で準備委員会で話合ひが進められていたところ九月二日午後九時から新港社宅青年團の結成式を同クラブで挙行した。團員には十五才から二十五才までの男女青年で女子は未婚者のみとし、二二〇名の團員が加盟することとなつた。役員には選挙により次の三氏が決定、組合との協力に就ても團の運営の中で今後十分考慮して行くことになつた。

團長　川畑昭二郎
副團長　町秀雄　川口富蔵

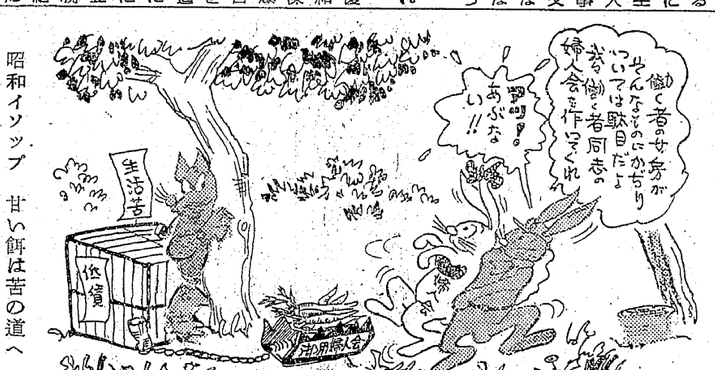
町長の町民税がたつた五五〇円
瀬高の町民税問題で大地評起つ

瀬高町の町民税賦課が手タラメだと騒かれ、九月二日十時からの三試取り行われたが、本年も目覚の生活の乏しさを吹き飛ばそうと多彩な催物が計画されている。

△祭典＝九月十六日（第三日曜）午前八時三十分、金比羅神社（災害防止祈願祭）
△野球試合＝少年野球　成年野球　午前九時より於三川グランド
△バレー大会＝男子一般、女子一般、女学生、正午より於三川、港務所両コート
△男子一般ソフトボール＝午前九時、於三川球場
△相撲試合＝午後一時より、於神社境内、小学生、新制中学、成年一般に分けて行う
△婦人一般宝入競走＝午前九時より、於神社境内
△演芸大会＝午後四時より演舞場

日本一の主婦會
北海道の婦人達は斯く活動している

北海道の社宅婦人が常に心配してこの様なことが出來るかを問題に記せば無駄がそうさせたともれて居ることは勿論である。山間の一農村婦制炭鉱に居ることは、夫の安全であり、子女の教育であり、生活様式である。夫の安全は即ち生活様式と教育に結び付きこれに経済的な部面が主軸となる。であるから主人の收入には非常に関心が深い。以上の事柄を婦人達は真剣に考えて居り又実行して居るのには感服の外はない。国子などは解くことも出來ない程実生活に突入して居るがとう



昭和イソップ　甘い餌は苦の道へ

婦人

聲

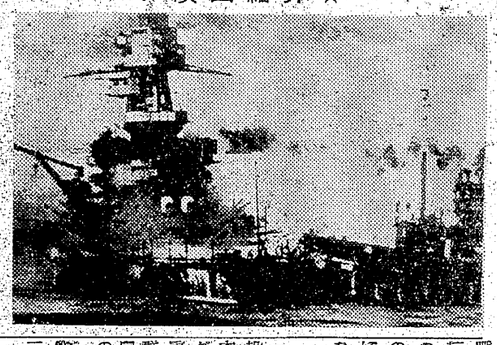
雨中の接戦
日井ソフトボール大会

同じ社宅に住む者の親睦心の育成と、お互の親睦の意味で日井社宅港務所社宅戸主会では、会員の話合いにより、ソフトボール大会を開いたが試合は百六十戸を四チームに編成、リーグ戦により進められ、第一回戦は八月三十日より日井鹿場で

賑やかに新港祭
16日新港社宅で

同じ新港町に住む者として、三川、港務の両地区で仲よく手をつなぎあつていこうという事で、昨年は社宅の中心にある金比羅神社の祭典と

日本海軍の終末
★映画紹介★



今週の映画

訂正

組合員の皆さんへ

港務支部長　水元盛廣

ハリキリさん
園田鉄雄

夏の點描
川柳　万田電氣　高崎天馬

組合員の皆さんへ
港務支部長　水元盛廣

◎機關紙は家族揃つて讀みましよう